

3月11日の記憶

市長 明智 忠直



3月11日、この日が近づくにつれ、6年前に発生した東北地方太平洋沖地震、それに伴う大津波や原発事故、一連の大惨事が思い起こされます。この災害は旭市にも未曾有の被害をもたらしました。

今記憶をたどり、あの日の状況を振り返ってみますと、午後2時46分にマグニチュード9・0の巨大地震が発生。震度5強とは思えない激震でありました。私は公務から帰ってきた直後で、庁舎が壊れるのではと思ったほどの揺れでした。時間も長く、ただあせんとしているばかりでした。相当の被害が出るのではと覚悟をしましたが、まさかあれほどの大きな被害になるとは思ってもみませんでした。とにかく情報の収集とこれからの対応のため、直ちに災害対策本部を設置し、現状を把握するため市内を巡回しました。驚かされ

たのは、道路がズタズタに寸断し、ブロック塀が倒壊するなど、液状化があちこちで見られたことです。テレビでは東北地方の巨大津波の様子が放映され、こちらにも来るのではと心配しているうちに、午後5時26分、飯岡地区をはじめ、海岸一帯に7・6mのあの巨大津波が押し寄せました。テレビの中の惨状が、現実はこの旭市でも発生したのです。この日開設した避難所には多くの人が身を寄せ、余震が続く中、眠れぬ不安な夜を過ごしました。

今年も3月11日には、県と合同で追悼式を行いました。遺族の方の心が少しでも和み、癒されることを願います。また津波避難訓練などを通して、あの震災を忘れず、いざという時に備え、教訓を次代に引き継ぐことにつなげていければと思います。

市図書館だより

開館時間／火～金曜日…午前9時～午後6時
土・日曜日…午前9時～午後5時
今月の休館日／20日(木)、29日(土・祝)、毎週月曜日
岡市図書館(☎62-2560) <http://www.library-asahi-chiba.jp/>

今月のおすすめ

原之内菊子の憂鬱なインタビュー

大山淳子 著
(小学館)



特殊な能力を使い特ダネを持ち帰るインタビュアーの菊子は、ある取材が元で事件に巻き込まれてしまう。

駒姫

武内涼 著
(新潮社)



無実の罪で処刑が迫る姫を救うため、徳川・伊達と渡り合い奔走する最上家の運命は……。真の強さとは何かを描く一冊です。

新着図書

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ●トルコ現代史 (今井宏平) | ●ダブルマリッジ (橘玲) |
| ●小林カツ代伝 (中原一步) | ●無貌の神 (恒川光太郎) |
| ●移住女子 (伊佐知美) | ●リアルプリンセス (寺地はるな) |
| ●骸骨考 (養老孟司) | ●錯迷 (堂場瞬一) |
| ●家のしごと (山本ふみこ) | ●翼がなくても (中山七里) |
| ●神は背番号に宿る (佐々木健一) | ●本を守ろうとする猫の話 (夏川草介) |
| ●新・敬語論 (井上史雄) | ●バスを待つ男 (西村健) |
| ●作家と楽しむ古典 (池澤夏樹) | ●星をつける女 (原宏一) |
| ●狩人の悪夢 (有栖川有栖) | ●カプールの園 (宮内悠介) |
| ●夏をなくした少年たち(生馬直樹) | ●やまと錦 (村木風) |
| ●東京クルージング (伊集院静) | ●ネコと昼寝 (群ようこ) |
| ●雪つもりし朝 (植松三十里) | ●戦始末 (矢野隆) |
| ●テロリストの処方 (久坂部羊) | ●まひるまの星 (吉永南央) |
| ●主君 (高殿円) | |

おはなしの時間

幼児向きの絵本の読み聞かせ

日時／4月13日(木)、27日(木)
午後4時30分～5時
場所／市民会館